



代表取締役

金村 禎太

special × interview

タレント

ラッシャー板前

物心両面において永遠に豊かに—— 不動産事業を通して地域に貢献したい

eito group

株式会社 エイトエステート

福岡県福岡市博多区博多駅前2丁目12番3号7F

福岡市を拠点に、不動産管理・運営及び仲介事業を展開する『エイトエステート』。不動産事業による街づくりで、地域に住まう人々と事業に関わるすべての人の真の豊かさを追求することが、同社を牽引する金村社長の経営方針だ。グループ企業の設定やホールディングス化も視野に「エイトブランド」の確立を目指す社長に、本日はタレントのラッシャー板前氏がお話を伺った。

——早速ですが、金村社長の歩みからお聞かせください。

学生時代から漠然と経営者を志していましたが、就職活動を行う時には進みたい業種も絞れておらず、ならば幅広い業界について見聞を広げておこうと三井住友銀行に入行しました。浜松法人営業部、東京中央法人営業第三部（現二部）にて法人営業に携わり、ベンチャー企業から上場企業など計200社超を担当。銀行在籍時代を通して、製造業や卸・小売業、不動産業、サービス業など多種多様な業種を担当させていただきましたね。

——そうした環境で働いたことで社長の選択肢が広がりましたね。

おっしゃる通りです。そうした中、「銀行での経験を活かしてくれないか」と言われて、2023年5月に家業に入りました。家業は、1975年に祖父が創業し福岡県内で多店舗展開しているパチンコ店「㈱ゾーン」であり、私は同社の取締役とし

て財務面を担当しています。ただ、私は既存事業を守るためにだけに家業に入ったわけではありません。

——と、言いますか？

遊技業界も例に漏れず、コロナ禍で打撃を受け、一つの事業に対する依存度が高い一本足打法ではリスクが大きいことを体感しまして、私のミッションとして事業の多角化を目指すことにしました。そこで、もともと所有していた不動産も活かして不動産事業を根幹事業として一層強化し、さらに飲食業など事業柱を増やすことを目的に家業に入ったんです。そうした中、不動産事業については1つの事業柱に留めておくのではなくさらに発展させようと、2023年8月8日に新たに立ち上げたのが「エイトエステート」なんです。さらに翌9月にM&Aで取得した不動産賃貸会社も経営しており、ここから「eito group」のブランド化を進めます。——8月8日は、末広がりな縁起の

エイト
〈永豊〉—永遠に豊かに—
心豊かな未来を創造する



㈱エイトエステート / ㈱ゾーン / ㈱曙通商 / ㈱現代産商 / ㈱SKコーポレーション

良い日に会社を始められましたね。

自社ビルの名前もエイトビルで、エレベーターホールに掲げたロゴは88.8cmと、「8」という数字にとことんこだわったので、気づいていただけ嬉しいですよ（笑）。「エイト」は漢字で書くと「永豊」と書き、「eito group」が発展することによって地域の方やお客様、取引先、社員とその家族など当社事業に関わるすべての方が永遠に豊かであってほしいという願いが、事業の根幹にあります。——「永遠に豊か」と書いて「エイト」と読ませる。いいですね。

ここで言う豊かさとは、心の豊かさにフォーカスしています。例えば街にスーパーやホームセンターがあれば地域の方々が安心して暮らせるんじゃないか、どんな店にテナントに入ってもらったら地域の方々に喜んでもらえるだろうかと、利便性が高まると同時に心豊かに暮らしていただけるかを重視して不動産事業を進めます。

——地域に住まう方々を中心に考えた不動産事業を展開していられる、と。社員の方々にとっては、そうした事業に携わることが誇らしくもあるでしょうね。

社員については当然、待遇面がモチベーションの一つだと思うのですが、私

はやはり人が本当の意味で心豊かに生きていくためには、夢や目標を持つことが大切だと考えます。「eito group」を8社で構成されたグループに成長させることが私の夢であるように、経営者になりたいという夢もウェルカム。新規事業や新会社を立ち上げてその夢を叶えられるよう全力で応援することも視野に入れています。今いる社員の中から、経営者を一人でも多く輩出することも私の夢です。組織とは「個」の集まりであり、経営者になり得る優秀な人材、夢や目標を持った人材が多ければ多いほど、組織は強くなりますから。そうしてホールディングス化すれば結果として事業が拡大し、より地域に貢献することができる。相乗効果も非常に高いと思います。社員が夢を持ち、チャンスをつかめる会社でありたいですね。

——ここから「eito group」さんの躍進がはじまるわけですが、今後についてはどのようにお考えでしょう。

従前、当社の不動産事業は遊技事業を下支えする役割という位置づけでしたが、今後は仲介や管理等の機能を一層拡充し、グループ全体を牽引する事業柱として強化して参ります。私が財務面を見ている「ゾーン」は地元で知名度が高く、現状、



福岡県北九州市出身。1993年生まれの30歳（取材時点）。インターナショナルスクール、九州国際大学付属中学・高等学校を経て「中央大学」に進学。ビジネス学を学ぶため「カリフォルニア大学アーバイン校」に2年間留学し、2017年4月「三井住友銀行」へ入行。浜松法人営業部、東京中央法人営業第三部（現二部）に計6年間勤務の後、2023年5月に家業「㈱ゾーン」の取締役役に就任。同年8月に「㈱エイトエステート」を起業した。

当社はその関連会社というイメージが強いですね。それを今後、グループ経営化を促進しながら「eito group」という新たなブランドを構築し、皆さんに認知されるのが目の下の目標です。「8年後」にまたお会いできましたら光栄です（笑）。

——8社と言わず、88社になっている可能性だってありますね！社長の確たる経営方針があれば決して不可能ではありません。本日は、ありがとうございました。（2023年11月取材）



「[8]という数字に並々ならぬこだわりをお持ちの金村社長。その背景にある「永遠に豊かに」というお考えに感銘を受けました。銀行員時代に得たご経験や業界・社会を俯瞰的に見る眼をお持ちで、お若いながら言葉にもとても説得力があります。家業を牽引するお父様への尊敬も持ちながら、ご自身の理想もしっかりある。これから非常に楽しみな経営者です！」 ラッシャー板前 談

組織を成長させるのは揺るぎない志

▼一刻一刻と変化し続ける社会において、常に安泰と言える業界はもはやないに等しい。銀行勤務を経てそうした各業界の動きを熟知した金村社長は、遊技事業を展開する家業に入ると、「単に既存事業を守るだけでは、家業に入る意味がない」と、自分に与えられた使命と責務について熟慮。結果、事業の多角化に舵を切ることを決める。その後、家業の1事業でもある不動産事業をより発展させるべく、2023年8月8日に「エイトエステート」を設立。経営者という土壌が上がって、「自分が目指す夢やゴールを明確にしておかなければ、会社が進むべき方向性は定まりません。いかに、私自身が揺るぎない方針を持って事業を牽引できるか」——。そう話す社長は、自身と同じく夢や目標を持つ人材を求め、組織の発展において起爆剤となってくれることを期待している。組織を、時代を創っていく心意気で、前進するのみだ。